

平成23年6月定例会一般質問表

6. 3、6、9

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	4 番 梅 川 信 治 議 員	<p>1. 東日本大震災における南陽市の対応について</p> <p>(1) 大震災による南陽市の被害状況について</p> <p>(2) 被害等の情報収集について</p> <p>(3) 義援金や支援物資について</p> <p>(4) 避難者の受け入れ状況について</p> <p>(5) 自主防災組織状況について</p> <p>2. 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う南陽市への放射線の影響について</p> <p>(1) 市内における放射線量の汚染状況について</p> <p>(2) 農畜産物等への影響について</p> <p>(3) 上下水道水への汚染について</p>	市 長 関係課長 市 長 関係課長
2	5 番 川 合 猛 議 員	<p>1. 東日本大震災及び原子力発電に関する災害対策について</p> <p>(1) 降りしきる雪の中、福島県より避難者の方が中学校へ来られました。暖かい飲み物と、お風呂にはいたいとの声が有り、赤湯温泉に対し、午後の2時間位の開放を求めたが応じてもらえなかった。結局2軒の旅館だけ温泉開放となった。市としても温泉組合等に協力を求めても良かったのではないのかお伺いします。</p> <p>(2) 一軒の旅館が避難所として開放しました。どういう家族にはいってもらえるか、苦勞して人選し20数名の方に移動してもらいました。しかしその後、不公平であるとか、色々な問題が起きました。結局1ヶ月から2ヶ月で、全員が各旅館、ホテル等に二次避難したわけですが、</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	5 番 川 合 猛 議 員	<p>一軒の旅館が開放をした時点で赤湯の旅館を市で借り上げ移ってもらう位の思い切った決断があってもよかったのではないのかお伺いします。</p> <p>(3) 3月25日に大崎市へ支援物資を送られたわけですが、多くの市民の方が初めて聞く市名で、どういう市なのか等色々聞かれたのですが、私も不勉強で知りませんでした。ただひとつの情報として、前の日の夕方5時半頃、明日の10時にえくぼプラザを出発するとのFAXがはいっただけでした。事前に議員又市民の方に知らせるべきだったのではないのかお伺いします。</p> <p>(4) 現時点で市内におられる避難者の数は何名ですか。それぞれどこにおられるのか内訳をお伺いします。</p> <p>2. 平成24年度南陽市重要要望事業について</p> <p>(1) 先日の全員協議会で配布された要望書の中で、平成23年度まで継続して要望してきた白竜湖景観の保全についての部分が無くなりました。何故削除したのかお伺いします。</p> <p>3. 南陽市の教育及び学校施設について</p> <p>(1) 福島県より避難して市内の学校に通っている児童、生徒は現在何名いるのか、又問題なく学校生活を送っておりますかお伺いします。</p> <p>(2) 旧中川中学校に、市内の廃校となった中学校より運んできた、給食設備とか、各備品が山積みとなっている。いつまで置いておくのか、又この先再利用等も含めてどう対処していくのかお伺いします。</p>	<p>市 長 関係課長</p> <p>教 育 長 関係課長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
3	3 番 吉 田 美 枝 議 員	<p>② 給食の地産地消率の動向は。</p> <p>③ アレルギー除去食への対応は順調か。</p> <p>④ 新たな問題点はないか。</p> <p>(2) 米飯給食について</p> <p>① 現在の米飯給食の回数と今後について。</p> <p>② 現在の給食費は。また米飯とパン食の差は。</p> <p>③ 米粉の消費拡大と米粉パンへの取り組みは。</p> <p>以上お伺いいたします。</p>	
4	15 番 佐 藤 明 議 員	<p>1. 東日本大震災について</p> <p>(1) 去る、3月11日、午後2時46分に発生した戦後最大の東日本大震災は判明しているだけで5月25日現在亡くなった方1万5,217人、行方不明者8,666人という大惨事をもたらしました。避難されている方も10万3,021人となっています。さらに、福島第一原発が押しよせた津波によって電源を失い、冷却機能を喪失して燃料棒が溶け、炉心熔融を起こし、放射性物質が放出されるという大惨事となり、収束がいつになるか、見通しが立たない状態となっています。こういった状況の中で、全国の自治体で地域防災計画を見直す動きが相次いでおりますが、南陽市での再検討、見直しはどのようにされるのか。</p> <p>(2) 見直しをする場合、上からの押しつけでなく地域住民の声を土台にした、つまり、要望、要求にそった計画づくりにすべきではないか。また、市民へのアンケート調査等を実施してはどうか。</p> <p>(3) 県は、23日東日本大震災による農業への被害が5億7,000万円にのぼることを明らかにしましたが南陽市の被害状況はどうか。また、その対応についてどのようにされるのか。</p> <p>(4) 福島第一原発から大量の放射性物質が放出しています。105Kはなれている南陽市民も不安でいっぱいです。市独自で調査すべきと考えますがどうか。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
5	1 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>合には、避難場所としての適性さや、防災センターとしての機能を果たしているのか伺う。</p> <p>③ 危機管理課が設置され、この度の東日本大震災が起きたことにより、一層危機管理、安全対策についての防災意識が益々重要であると認識された事と思います。 私たちも市民生活において、地震、台風、豪雨などの災害は、いついかなる時に襲ってくるか分かりません。こうした不測の事態を想定した危機管理対策としての非常体制時の緊急対応など、関係職員の労と多とするものであるが、これからの取組状況について、これから危機管理課として、どの様に計画されているか伺います。</p> <p>④ 避難者に対応する「心のケア」について、被災され避難生活を本市で住まわれている方々は、慣れない土地で不安な日々を送られている事と思います。心の痛手を負った方たちに対し、「心のケア」はどうなっているか、必要としている現状、訴えはあるか、特に小中学校の児童生徒を預かる教育現場での状況はどうか伺います。</p> <p>3. 友好都市や災害協力都市の提携推進について</p> <p>(1) 友好・災害支援協力体制の確立について</p> <p>① 近隣市町では、この度の災害で被災された市町との友好都市、または災害協力提携を結んでおり、被災地への素早い支援対応がとられました。本市では、そうした友好都市や災害協力都市を結んでいる市町村がない現状である。是非、そうした友好都市、災害協力都市の締結推進を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>② 南陽ブランド特産品を紹介、販売するアンテナショップを仙台市内に開設する運びとなったが、それと合わせて本市と同じ様な文化、産業、観光、特産品など共通する市町村とのブランド物を中心とした友好都市を結ぶ事も必要と思うが、ブランド推進課も出来た訳ですし、前向きに検討してはどうかと考えるがどうか。</p>	市 長 関係課長